JAしおざわ　営農情報誌

No.3
平成25年5月1日

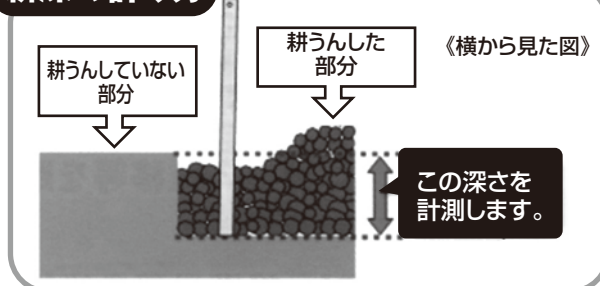
営農センターTEL 782-1171

稲作技術情報

～品質V字回復宣言～

1.本田準備から田植え作業を再確認

本田作業から田植えまでの期間は余裕を持って作業を行いましょう。また、本田作業を行う際は以下の点に注意し作業を行いましょう。

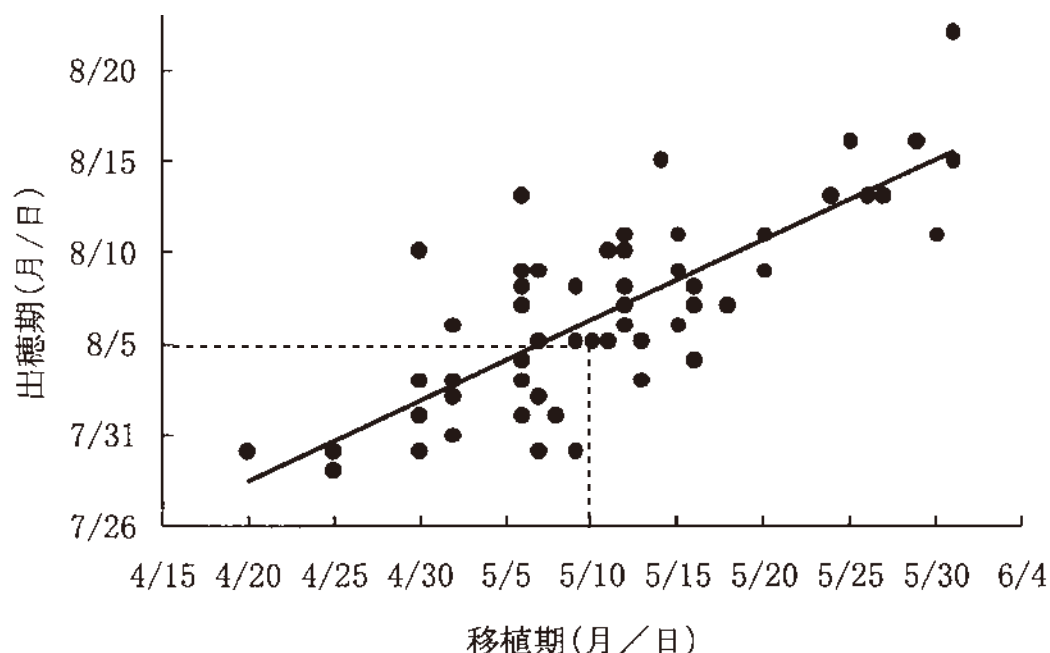
○稲わら**秋すき込み圃場**では、田面の**乾きが悪い**ので**排水を徹底**しましょう。
○なるべく圃場が乾いた状態で耕うんし、**作土深15cm**をめざしましょう。
○代かき作業は、**田植え2～3日前**とし、代かき直後の田植えは避けましょう。
○代かき後の**初期剤散布は、田植えまでの期間が7日以上空く場合**に行いましょう。

※育苗管理・本田準備・田植え作業についてのポイント・注意事項は、
4月1・15日発行の「あぜみちNo. 1, 2」をご覧ください。

農作業事故に注意してください!

農作業中の死亡事故の約7割が農機関連で発生しています。その中でも、乗用形トラクターでの発生が4割を超えています。作業時は、焦らず・安全意識を持った中で慎重に行いましょう。

2.田植作業について

①**田植えは、5月10日以降**とし、出穂期～登熟前半の高温障害を回避するために、**目標出穂日が8月10日頃**になるようにしましょう。
②栽植密度は、**1坪当たり50～60株**、植え付け本数は**1株あたり3本～4本**とし、**極端な浅・深植え**にならないように注意しましょう。
③施肥量は、過剰施肥とならないよう地域にあった**適切な基肥設計**をお願いします。特に前年度、**早期倒伏(8月下旬)**した田んぼは**基肥の施用量を検討**して下さい。

移植期と出穂期の関係

◎5月10日以降に移植することにより、安定的に8月5日以降の出穂となります。

疎植栽培での注意点!

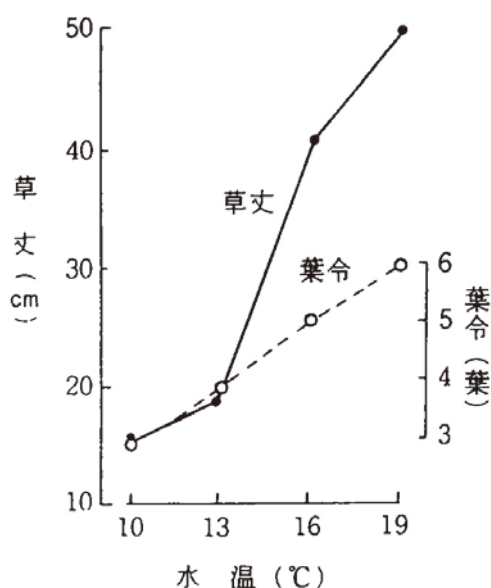
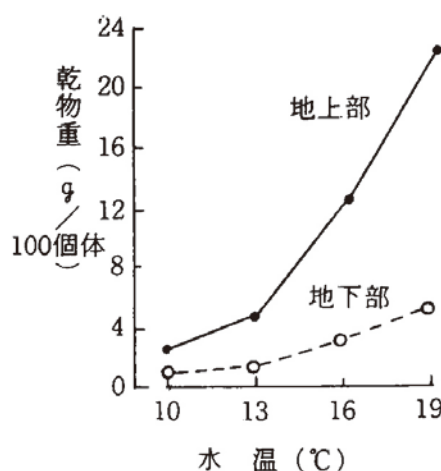
近年、低コスト栽培として、植付け株数を少なくし、苗の枚数を抑える疎植栽培が浸透しています。45株/坪以下の栽培では、地域条件によっては、初期生育が十分に取れず、収量確保が難しい場合があります。疎植栽培(45株/坪以下)を行う際は、地域条件や栽培環境を十分に考慮した上で行ってください。

3. 田植え後の水管理～分げつ促進のために～

目標茎数を早期に確保するため、**適切な水管理**を行い、初期生育（分げつの発生）を促進させましょう。
※初期生育の促進は、**太い茎を早期に目標数取る**ために行います。
（茎数をたくさん取ることではありません。）

生育初～中期の水管理基準

	水　深（cm）	効　　果	備　　考
田植え直後 （直後～7日程度）	5～6cm （深水）	低温・風による植え痛みを防ぎ、根付きを良くします。	水温を保てるよう、漏水に注意・防止する。
田植え初期 （田植え後7～10日以降）	2～3cm程度 （浅水）	水温・地温を上昇させ分げつ・発根を促進します。	ワキが多い場合は、1～2日落水する。

図:水温と草丈・重量の関係（田植え20日後）

田植え後の水温が高いほど成長が良くなります。

※田植え後20日間の水温が平均3℃（13℃と16℃の場合）違うと、草丈で2倍、重量で3倍の差が出ます。

- 活着、初期生育の促進には水温の上昇が決め手!
- 水の更新は早朝に行い、日中は止水として水温を上昇させましょう。

4. 畦畔・水田雑草防除について

（1）畦畔除草

畦畔に雑草が繁茂するとカメムシ類の発生を助長し、品質低下を招く要因となります。発生を防ぐために、**定期的な草刈り**をお願いいたします。

（2）水田除草

作業軽減のため除草剤を使用していますが、環境保全の面からも、除草剤多投入による生態系への影響が懸念されます。**水管理・耕転・田畑輪換**などの**耕種的防除、中耕（除草機など）**による**機械的防除を組み合わせた除草体系**の実施をお願いします。

問題となる主な水田雑草

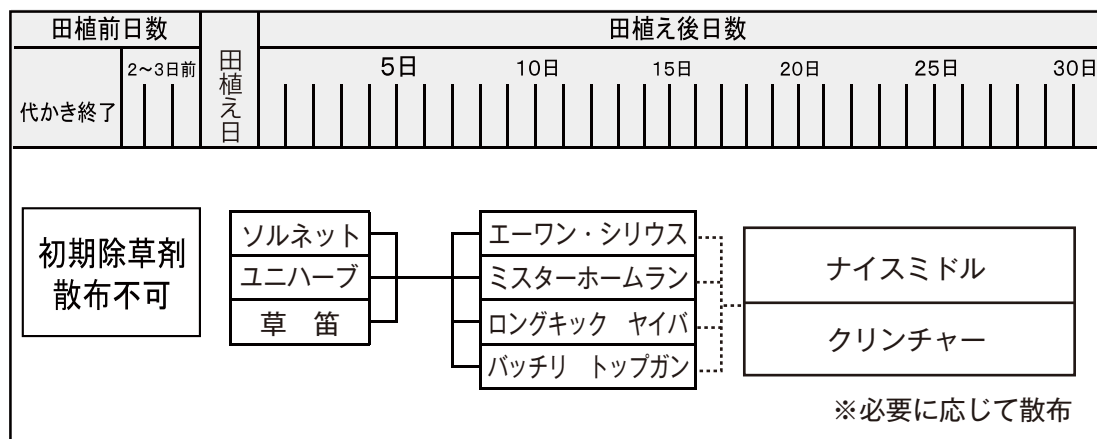
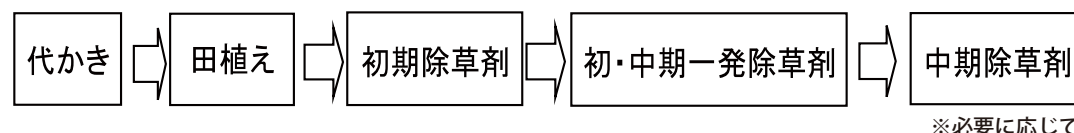
(1) 1年生雑草：ノビエ・コナギ・アメリカアゼナ・カヤツリグサ類など
(2) 多年生雑草：クログワイ・ホタルイ・ウリカワ・マツバイ・オモダカなど
(3) 藻　　類：アオミドロ・表層はく離
(4) 浮 遊 雑 草：ウキクサ類など

★発生する雑草に合った除草体系を選択し、水田雑草防除を行ってください。★

・除草体系例

①代かき後～田植えまでの期間が開いた場合（7日以上）

②代かき後～田植えまでの期間が短い場合

③難防除雑草（ｸﾛｸﾞﾜｲ・ﾎﾀﾙｲ）が多い田んぼ場合

?質問、疑問?

Q 代かき後に初期剤を散布する場合、水が濁っていても撒いていいの?

A 水が澄んでいる状態で撒くことをおすすめします。しかし、代かき翌日に**多少の濁りがある場合は問題ありません。**

Q 田植え前に初期剤を散布する場合、何日あければ田植えをしていいの?

A 初期剤を散布する場合、田植え前までの日数は、**散布日を除く7日前**までに撒きましょう。**7日前以内**に撒くと、水をはらう際に除草剤成分が流れ出し、**環境に悪影響(魚毒性)が出てしまいます**のでご注意ください。

JAしおざわ一押し除草剤（初中期一発剤）

・1キロ粒剤なら

☆ミスターホームラン　1キロ粒剤

ここが一押し!

ヒエの発生を長期間抑える成分を配合。
一発処理剤の中では、価格が一番安い!

・フロアブル剤なら

☆トップガンL　フロアブル

ここが一押し!

ヒエをはじめ、幅広い種類の雑草に効果が優れている。
発生前の散布で、アオミドロ・表層剥離を抑える効果がある。

・減農薬栽培なら

☆ヤイバ剤（1キロ粒剤・豆つぶ剤・ジャンボ剤）

ここが一押し!

2成分剤で、通常の除草剤に比べ1～2成分少なくできる。
効果は安定していて、抑草期間も長い。
JAしおざわ特別栽培米使用農薬。

※価格は9ページをご覧下さい。

5．水田除草剤の散布方法について

（1）水田除草剤使用のポイント

水田除草剤は、種類によりそれぞれ作用性が異なっています。個々の特性を知り、作物・人畜及び魚類等に対する安全性、除草効果、経済性、環境への影響などを考慮し、使用条件に最も適したものを選んでください。水田除草剤の種類は、散布時期・方法により下のように分類されます。

散布時期の違い…初期剤・初期一発剤・初中期一発剤・中期剤・後期剤
散布方法の違い…1キロ粒剤・フロアブル剤・投込み剤（ジャンボ）など

※散布方法別の特徴・注意点は次ページのようになります。

(2) 散布方法別の特徴・注意点

1キロ粒剤の特徴・注意点

特　徴 散布時に風の影響を受けにくく、土壌表面に散布するため土壌吸着性が高い。水持ちが良くない田んぼでも他の剤（フロアブル・投込み（ジャンボ））より効果が高い。経済性に優れているが、散布機が必要であり散布するために労力がかかるという短所もあります。

散布機使用の注意点

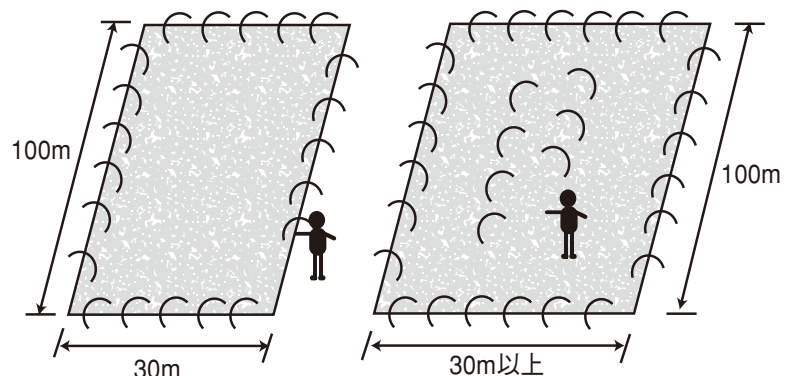
①1キロ粒剤対応機は、**取扱説明書をよく読んで**調整等を確認してください。
②**1キロ粒剤未対応機**の場合でも、対応部品を装着することにより、均一に散布でき、効果及び安全性が高まります。**メーカー・機種等により、対応部品が異なり**ます。対応部品に関しては、お買い上げの**農機具販売店にご相談**ください。
③薬剤をより遠く（15m程度）に飛ばすため、**エンジン開度は最高**にする。
④慣れるまでは、**1ほ場毎に薬剤を調量**し散布してください。一度に数枚分の薬剤を入れると、過度に播きすぎる原因となります。
⑤**散粒機を使用**する場合、調量レバーを**ゼロから順次上げて**適正な吐出量にしてください。

フロアブル剤の特徴・注意点

特　徴 拡散性に優れ、畦畔の幅が30mの水田までは、水田内に入らず、両側の畦畔から散布できる。散布に際して労力がかからないが、1キロ粒剤に比べ、多少割高になる。

散布時の注意点

水持ちの良くない水田では、注意して使用する。**畦畔の幅が30mを超える水田**では、畦畔の散布に加え、幅に応じて**水田内に入り数列の散布**を組み合わせて行う。

散布模式図

※フロアブル剤専用噴霧器もあります。（幅30～35m、薬剤散布到達距離：約10m）

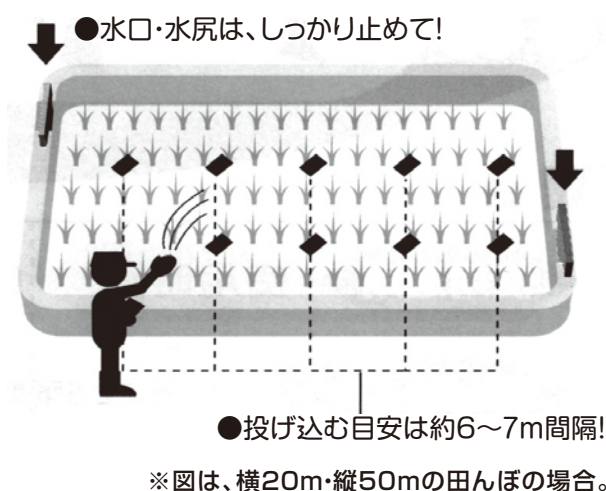
投げ込み（ジャンボ）剤の特徴・注意点

特　徴　拡散性に優れ、畦畔の幅が長い水田においても水田内に入らず、畦畔から散布できる。しかし、表層剥離・アオミドロの多発生・水持ちのよくない水田では散布ができない場合がある。また、散布に際してフロアブル剤よりも労力がかからないが、1キロ粒剤・フロアブル剤より、多少割高になる。

散布時の注意点

散布時の水深を5cm以上確保する。（拡散性を高めるため）**表層剥離・アオミドロ・浮草が多発生**している水田では**効果が劣る**可能性があるため、使用しない。また、**ぬれた手・降雨時**の散布には**小包装（パック）が破れる可能性**があるため注意する。

※田んぼの大きさにあわせて、均一に広がるように心がけて下さい。

※図は、横20m・縦50mの田んぼの場合。

共通注意事項

（1キロ粒剤・フロアブル剤・投込み剤〈ジャンボ〉）

① 田面が均一になるように**代かき、整地はていねい**に行ってください。
② 散布前は**水尻をしっかり閉じ**、散布時から散布後少なくとも**3・4日間は、水深3～5㎝の湛水状態**を保ち、田面を露出させず、**散布後7日間は落水や掛け流しは、行わない**でください。
③ **極端な砂質土壌・漏水田（減水深3㎝/日以上）**は使用しない。**（薬害発生の可能性あり）**
④ **強風時**の散布は、**播きムラ・除草効果ムラ**が生じやすいので行わない。
⑤ 畦畔からの漏水を防ぐため、**モグラ・ネズミ穴等はふさいで**おきましょう。

発生する雑草に合った薬剤を選択し、適期・適量散布を行ってください。

JAしおざわ取り扱い除草剤の詳細は次ページをご覧下さい。

JAしおざわ　おすすめ除草剤取り扱い品目（初期～中期）

	薬剤名	使用時期	効果・特徴の説明	価格（税込み）
初期剤	ソルネット　1キロ粒剤	田植え７日前まで 田植え直後～５日まで （ノビエ１葉期まで）	低温でも安定した効果。	¥682
	ユニハーブ フロアブル		１年生雑草及びホタルイ・ウリカワに効果。	¥2,110
	草　笛　フロアブル		クログワイ・ホタルイに効果。	¥1,365
初中期一発処理剤	トップガンLフロアブル	田植え直後～30日まで （ノビエ3葉期まで） ※田植え同時処理可能	SU抵抗性ホタルイに効果が高い。 ヒエ3葉期・広葉雑草に幅広い効果。 田植え直後から使用可能。	¥3,003
	ヤイバ　1キロ粒剤		水稲への安全性が高い。ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。2成分剤なので減農薬栽培に適する。	¥2,929
	バッチリ Lフロアブル	田植え直後～30日まで （ノビエ2．５葉期まで） ※田植え同時処理可能	ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。 効果発現が早い。	¥3,066
	〃　1キロ粒剤			¥3,097
	ロングキック Lフロアブル		SU抵抗性雑草に高い効果。 ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。 発生を長期間抑える。	¥3,412
	ミスターホームラン Lフロアブル	田植え当日～30日まで （ノビエ2．５葉期まで）	ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。 特に、ヒエに優れた効果あり。 残効が長い。	¥2,562
	〃 Lジャンボ	田植え後3～30日まで （ノビエ2．５葉期まで）		¥2,614
	エーワン　Lフロアブル	田植え後5～30日まで （ノビエ2．５葉期まで）	SU抵抗性雑草に高い効果。 ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。 新規成分配合。2成分剤。	¥3,066
	〃　1キロ粒剤			¥2,992
	シリウスターボジャンボ	田植え後5～30日まで （ノビエ2葉期まで）	ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。 生育初期のアオミドロ・ 表層はく離に効果優れる。	¥3,139
	〃　1キロ粒剤			¥2,961
中期剤	ナイスミドル1キロ粒剤	田植え後14～40日まで （ノビエ4葉期・ クログワイ10cmまで）	ヒエ・クログワイ広葉雑草に幅広い効果。 田植え後2週間から使用できる中期剤	¥2,551
	クリンチャー　1キロ粒剤	田植え後7～25日まで （ノビエ3葉期まで）	ヒエ剤。広葉雑草には効果なし。	¥1,596

※使用時期・効果・特徴の説明は、メーカーの表示したものを引用しています。
※散布量は、10aあたり、1袋、又は1本の散布になります。

上記に関する質問・除草剤に関する質問・ご相談は、
JAしおざわ　営農センター　　電話782−1171　へお願いします。

園芸技術情報

1 野菜を育てるために（詳細はNo.2　4/15号を参照）

(1) 土づくり

基本は土を深く軟らかくして、有機物を多くし、水持ち･水はけも良くすることです。
特に**転作田など雨水のたまりやすい畑では、周囲に溝を掘るなど、排水を心がけ**てください。

(2) 土壌酸度の改良

土の酸度はpH（ペーハー又はピーエイチ）値で表し、pH7が中生です。pH4~6は酸性土、pH8~9をアルカリ土と呼びます。**一般的に野菜を作る場合、pH6.0~6.5程度が理想的**な土であると考えられます。日本の土は元来、火山成土壌のため、一般的にはpH5.0~5.5ですので、苦土炭カルで10~13kg／aの施用です。

2 肥料の使い方

(1) 肥料の三要素と五要素

チッソ（N）･リン酸（P）･カリ（K）を三要素といい、植物の生育に
必ず必要な成分です。さらにカルシウム（Ca）とマグネシウム（Mg）を加えて、五要素といいます。

チッソ	**葉肥え**ともいわれ、**作物の葉を茂らせ**、枝や茎を形作る働きをします。
リン酸	**実肥え**ともいわれ、**果実の肥大**に重要な成分です。
カリ	**根肥え**ともいわれ、**根を活性化することにより**、茎や葉を丈夫にする成分

(2) 微量要素

五要素の他にも、微量ですが不足すると植物の生育に影響を及ぼす成分を微量要素といい、マンガン（Mn）ホウ素（B）などが含まれます。

(3) 基肥と追肥の施し方

植付けの前に施す肥料を基肥（元肥）といい、生育途中に施す肥料を追肥といいます。
追肥は速く効かせたいので、速効性肥料が望ましい。

果菜類	基肥には効き目がゆるやかな、緩効性肥料をを主体にして、効き目の速い速効性肥料を少なめにする。全**量の半分を基肥**とし、生育が長いので、**半分を追肥**として与える。
葉菜類	**基肥重点に施用**し、生育期間が短いので、追肥は早めに施す。
根菜類	**ばれいしょ･大根**など生育期間の短いものは基肥重点、**さといも･人参など長いもの**は基肥･追肥半々に施用する。

（4）肥料の種類（分類の仕方は数種類ありますが、基肥･追肥で区分すると）

①**基肥－MMB燐加安･トリオ有機･大根配合･ネギ配合**など、比較的緩効性の成分で基肥に適する。

②**追肥－NK化成･燐硝安加里**など、比較的速効性の成分で追肥に適する。

3.植付の準備

（1）堆肥や石灰類の施用と耕耘（詳細はNo.2　4/15号を参照）

堆肥や石灰類を植付の1～3週間前（種類によって日数が違う）にを施用し、**耕耘放置**しておく。

（2）基肥の施用と畝立て

植付5日前までに基肥を施して、作物用に畝立てをし、必要に応じて、ポリマルチをして**地温上昇に努める。**

4.苗の植え付け

（1）早植えは禁物

雪が消えても寒い日はまだまだあります。**極端な早植えはかえって生育が遅れて**しまいます。その場所の植付時期は、早くても八重桜が終わってからにして下さい。

（2）天気の良い午前中が最適

天気の良い暖かい日の午前中が最適です。活着がよりよくなります。**寒い日や風の強い日は植え傷みや活着が遅れます。**

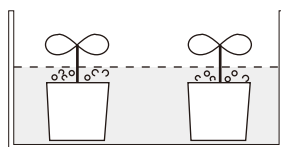
（3）植付のやり方

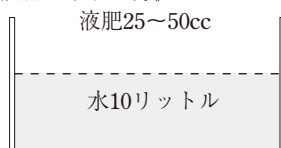
①作物にあった間隔で植え付け穴を掘ります。

②植穴に予防用粒状殺虫剤（登録により違う　例ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤）を入れ、土にかき混ぜる。

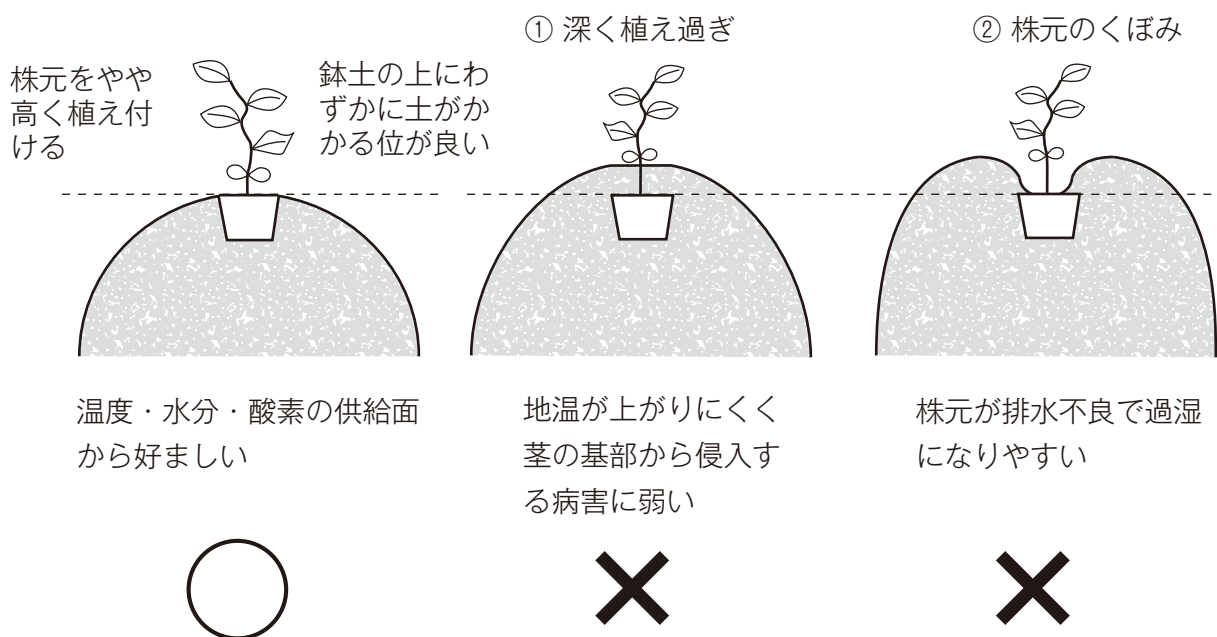
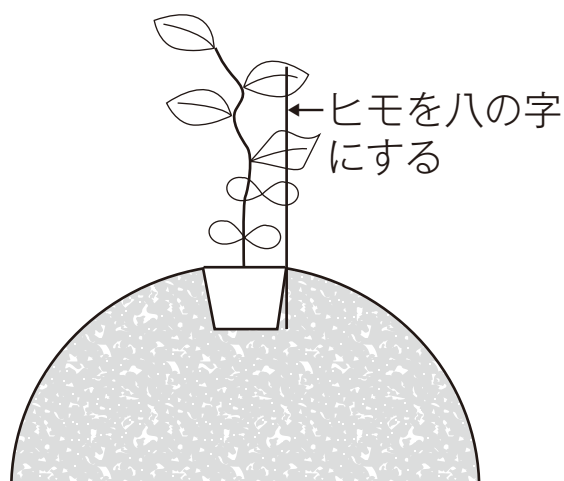
③さらに**植穴に、液肥200倍液を1穴当たり1ℓを潅注**する。

④植え付ける苗は、あらかじめ液肥200倍液に浸し、泡が出なくなったら、上げて水切りをしておく。

《水のやり方》

水を入れた容器に鉢ごと浸します。鉢土から泡が出なくなるまで充分浸して下さい。
（ぬるま湯の方がよい）鉢を上げた後、１時間程度放置した方が根鉢がしっかりする。

《液肥のうすめ方》

10リットルの水に対してクミアイ液肥２号（N-10-P-4･K-8）を200倍（50cc）～400倍（25cc）にして入れ、よくかき混ぜる。

⑤植穴の液肥が完全に浸み込んだ後に、野菜苗を植え付ける。

★良い植え付け方　　　　**★悪い植え付け方**

⑥上の図のように**深植をしない**こと。
特に、**接ぎ木苗の場合は接ぎ穂部分が土に埋まらないよう**にする。
⑦**マルチ穴**をしっかりと土で**埋める。**隙間があると、**穴から熱風が出て苗を焼く**ことがあるので注意する。
⑧**植え付けたら、仮支柱を立て、風害から守り**ましょう。

支柱を立てましょう

植えつけ直後の苗は30㎝ほどの短めの支柱を根元から離して**根を傷つけないように差し**ます。苗の茎を支柱にゆとりをもたせてヒモで結びます。**苗が生長してきたら本支柱に替え**ましょう。

⑨**活着を促進**させましょう。定植後、風や低温から守るため、**トンネル被覆・苗キャップ・あんどん**をかけましょう